

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 期 日：令和7年5月15日（木） 17：30～19：00

2 場 所：図書室

3 出席者：委員（校長含む）10名、事務局2名

4 会次第

（1）開会

（2）学校長挨拶

（3）学校運営協議会委員及び事務局員の挨拶

（4）学校運営協議会の目的及び趣旨

（5）報告・協議事項

①学校経営方針・学校概要報告

②学校運営協議会活動計画

③学校評価

（6）授業参観

（7）諸連絡

5 議事録（○委員、●校長・事務局）

（1）報告・協議事項

①学校経営方針・学校概要報告

○学年は入学時に生徒が希望して決定するのか。

●どの学年からでも学ぶことができる。入学前面談において、本人の希望、卒業後の進路等を聞いて決定している。

○生活介助等支援員の業務はどのようなことを行うのか。

●学習や学校生活における生徒の補助を行う。授業中は生徒の横に座り、学習の理解を助けたり、日本語の学習が必要な生徒に学習内容の翻訳を行ったりしている。生活介助等支援員は、本校の他に県立学校2校に配置されている。どのように活用するかについて、手探りで行っているところである。

○夜間中学は他の学校と比較しても先生方の負担が重いと感じる。いかに他の学校や地域と連携し、効果的な教育活動を行うかが重要であると考えている。NPO 自立援助センターや外国籍の方を対象とした就労センターが作成しているコンテンツがる。このようなオンラインコンテンツを活用できるようになるとよいのではないか。

②学校運営協議会活動計画

- ・特になし

③学校評価

- 開校1年目である昨年度は、最終評価のB評価（おおむね達成できている）が4つあったが、学校関係者評価はすべてA評価（十分達成できている）とした。精力的に頑張ってもらっている。
- 昨年度からコース別での学習を行っておられるが、今年度は4コースでの学習を行っているのか。
- 今年度は昨年度のコース別学習をベースに改良を加え、3コースだったものを4コースに変更した。高校進学に特化したコースを新たに設けた。
- 生徒はコースの変更が可能なのか。
- 年4回実施している教育相談において、担任と話をしコースを変更することができる。
- 学年については本人の希望で決めるのか。
- 学年は入学前面談で決定する。1年生として入学すれば、原則3年間学ぶことになる。本校は、最大6年間在籍できるようにしている。今年度の卒業式は3月21日（土）を予定している。県立高校の合格発表があった1週間後に実施予定である。
- 昨年度、スクールソーシャルワーカー派遣の実績はあるのか。
- 昨年度の派遣実績はないが、今年度は派遣を依頼した。悩みをもった生徒の支援について助言をいただいている。
- スクールカウンセラーが2名配置となっている。どのような活用状況となっているか。
- 県から年間80時間の時数をいただいている。本校では、教職員が生徒の側にいる場面が多く、生徒が教職員に相談しやすい環境にある。そのため、スクールカウンセラー来校日の相談件数はそれほど多くはない状況にある。そのようなことを踏まえて、今年度の新たな取り組みとして、生徒一人一人とスクールカウンセラーが面談する機会を設けた。また、スクールカウンセラーによる「命の授業」を年に3回実施予定である。このような取り組みを通して、スクールカウンセラーの活用を広げていきたい。
- 本校での学びを必要としている人がいると思う。また、入学への一歩が出ない人もいるのではないか。そのような方へのアプローチや取り組みについてはどのように考えているのか。
- 中学校を卒業する生徒の入学に向けて、中学校の校長会で説明を行った。本校の情報がなかなか伝わっておらず、中学校の教職員にも十分に理解していただいていないと感じている。今年度は、学校関係者に特化した学校説明会を計画している。学校説明会を平日の午後に設定し、教職員が参加しやすいようにしている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの方々の研修等でも情報を届けていきたいと考えている。
- 生徒の食事は、それぞれが持ってきたものを食べているのか。

- アレルギーや宗教上の制限がある場合がある。生徒それぞれ必要な栄養摂取量が違うため、各自で食事を準備することになっている。
- 総合的な学習の時間ではどのようなことを学習しているのか。また、生徒の取り組みの状況はどうか。
- 昨年度は郷土のことを中心に調べ学習を行った。情報収集を行い、プレゼンテーション資料にまとめた。2年目は昨年度の学習を踏まえて、問題意識を広げていくことに取り組んでいく予定である。3年目は、課題解決を通して意見をもつことにつなげていきたい。生徒は前向きに取り組んでいる。シニア層の生徒もタブレット端末を活用して調べ学習やプレゼンテーション資料の作成に取り組んでいる。
- キャリア教育は行っているのか。
- 本校でもキャリアパスポートを作成している。本校で学んだ後に高校進学を希望する生徒もいれば、本校での学びを仕事や家庭生活に生かす生徒もいる。生徒それぞれの立場や環境に応じたサポートを行っている。